

エンドオブライフケア論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・石井真紀子

科目担当者（職位・氏名）：教授・濱中喜代、教授・吹田夕起子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：90

■ 授業概要

がんに限らず何らかの健康問題により死が近い状況におかれた患者と家族を全人的に理解し、生を全うできるための援助について講義する。さらに、緩和ケア、症状マネジメント等の援助の具体的な方法を提示する。

■ 到達目標

1. エンドオブライフケアについて、基本的なこと（何のことか、何を目指すか、延命・縮命をどう評価するか）が説明できる。
2. エンドオブライフ期の患者と家族へのケアのあり方について、緩和ケア、症状マネジメント等の方法の概要を理解し、説明できる。
3. 小児や高齢者、疾患の種類、療養場所等に応じたエンドオブライフ期のケアの多様性や個別性を理解し、説明できる。

■ 教育内容

看護の統合と実践

■ キーワード

人生の最終段階、エンドオブライフ(end of life)、緩和ケア、BSC、延命と縮命、生命維持の差し控えと終了、尊厳、トータルペイン、症状マネジメント、発達段階、死の概念、スピリチュアル・ケア

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	「エンドオブライフケア」とは何か	類語（ターミナルケア、緩和ケア、人生の最終段階 etc.）との異同 エンドオブライフケアの目指すこと（最善と尊厳）	石井
2	エンドオブライフ期のケア(1)	EOL 期のケアの基本：緩和ケア、トータルペイン 全人的なケア（医学的および心理・社会的アプローチ）、症状マネジメント	石井
3	エンドオブライフ期のケア(2)	がんとともに生きる人へのケア、臨死期における家族や遺族へのケア（グリーフケア）	石井
4	エンドオブライフケアの倫理	余命が延びる・縮まることをめぐる諸問題 （鎮静、安楽死、尊厳ある死、生命維持の差し控えと終了）、様々なガイドライン	石井
5	小児のエンドオブライフケア（1）	発達段階における多様性や個別性のあるケア（1）	濱中
6	小児のエンドオブライフケア（2）	発達段階における多様性や個別性のあるケア（2）	ゲストスピーカー （濱中）
7	老年期のエンドオブライフケア（1）	高齢者のエンドオブライフケアと意思決定支援	吹田
8	老年期のエンドオブライフケア（2）	認知症の人のエンドオブライフケア	吹田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末試験 100%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・授業中に提示する質問（Classroom 使用または紙媒体にて解答提出）については、次の授業時または最終回に解説を行うか、Classroom 上で解説する。
- ・期末試験については、試験後に採点基準と解説を Google Classroom に掲示する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
 - 成人看護学 ① 成人看護学概論
 - 成人看護学 ⑥ 緩和ケア
 - 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害
 - 老年看護学 ② 高齢者看護の実践
 - 小児看護学 ① 小児の発達と看護
 - 小児看護学 ③ 小児の疾患と看護
- ・清水哲郎著（2022）『医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学』医学書院

■ 参考書・参考資料等

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修として計 45 分程度必要とする。
- ・授業前後の学習は Classroom に掲示し、授業時に指示する。シラバスに則って授業に先立ち教科書の該当箇所等を提示するので、そこを予習し、授業後には教科書の復習および授業中に示された質問等への解答をする。

■ 担当教員からのメッセージ

エンドオブライフ期（人生の終りの時期）における患者とその家族へのケアを考えることは、医療や看護のあり方をより広く考えることに通じます。言い換えると、エンドオブライフケアを考えることを通して、皆さんは患者やその家族に対してどのような姿勢で、どういうことに目を配りながら、向き合っていくか、寄り添っていくかを学ぶことができるのです。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

- ・オフィスアワーは別に定めませんが、事前に連絡してから訪問のこと

石井：研究室 8、ishii★iwate-uhms.ac.jp

濱中：学長室、hamanaka★iwate-uhms.ac.jp

吹田：研究室 7、suita★iwate-uhms.ac.jp

（※メールの際は★を@にしてください）

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

濱中、吹田、石井：看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

病院及び施設での小児看護、老年看護、成人看護等の経験を活かし、それぞれの領域におけるエンドオブライフケアについての講義を行っています。